

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください。

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、引戸が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

同梱されているもの

戸先錠2ロック	
HH-J-517804(ラッチ無)の場合	HH-J-517810(ラッチ付)の場合
<p>上・下側兼用 戸先錠ケース：2個 室外側化粧座：2個 戸先錠：2個 下部連結板(固定) 子カギ：5本</p>	<p>上側戸先錠ケース：1個 下側戸先錠ケース：1個 室外側化粧座：2個 上部戸先錠：1個 下部戸先錠：1個 下部連結板(可動) 下部連結板(固定) 子カギ：5本</p>

取付ねじ(共通)	部品交換要領書
<p>戸先錠ケース取り 付け用：4本</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>本書</p> </div> <p>1枚</p>

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	マイナスドライバー	ビニールテープなど
<p>1本</p>	<p>1本</p>	

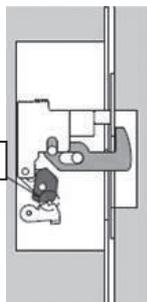
※部品が全てそろっていることを確認してください。
※戸先錠ケースには、○印部の下部連結板の形状の違いによりラッチ無とラッチ付の区別があります。
※戸先錠には取付ねじ(抜け防止用加工)が組み込まれています。
※ラッチ付の上部戸先錠は、脱着シフターツマミ付となっています。
※工事用カギが3本同梱されていますが、使用しません。

用語の説明

「ラッチ付」:引戸閉じ時のはね返り防止機構が付いた錠



ラッチ機能部



引戸を勢よく閉めたときに引戸が枠からはね返ろうとしても、戸先錠の鎌がかかって、引戸のはね返り(開き)を防止する機構

※部品の取りはずし方・取り付け方は2～11ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

戸先側操作部について

※戸先錠には引戸を閉める際のはね返りを防止するラッチ機構の有無があり、それぞれ戸先側の操作部には下写真の通りの3タイプがあります。戸先錠を取りはずすには、これらを取りはずしてから行ってください。

ラッチ機構無

■ 舟底引手タイプ



室外側

室内側

■ 室内外側バーハンドルタイプ



室外側

室内側

■ 室外側バーハンドルタイプ

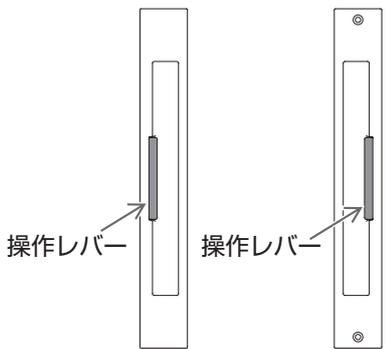


室外側

室内側

ラッチ機構付

■ 舟底引手タイプ



操作レバー

操作レバー

室外側

室内側

■ 室内外側バーハンドルタイプ



室外側

室内側

■ 室外側バーハンドルタイプ



操作レバー

室外側

室内側

※室内外側舟底引手共に操作レバー付です。

※ラッチ機構付の室内外側バーハンドルはともに左右に動きます。

※室外側バーハンドルは左右に動きます。
室内側舟底引手には操作レバーが付いています。

※戸先側操作部の取りはずし方については3ページを参照してください。

※部品の取り付け方は6～11ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

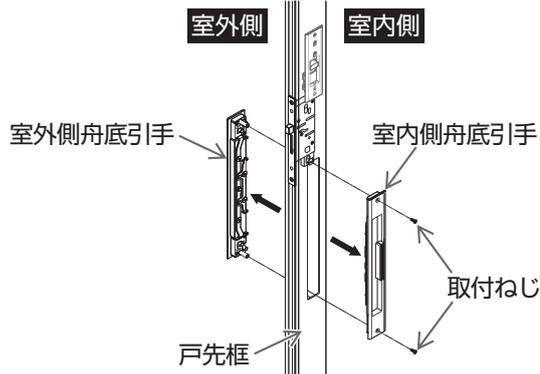
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 戸先錠側操作部の取りはずし

舟底引手タイプ

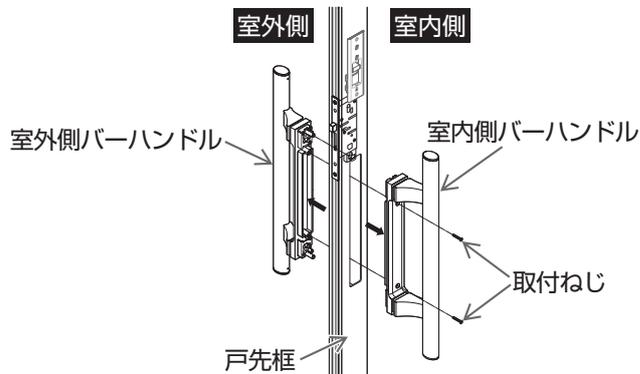


室内側よりプラスドライバーで室内側舟底引手の取付ねじをはずし、室内側舟底引手および室外側舟底引手をはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側舟底引手がはずれます。
落下にご注意ください。

※取りはずした室内側舟底引手および室外側舟底引手、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

室内外側バーハンドルタイプ

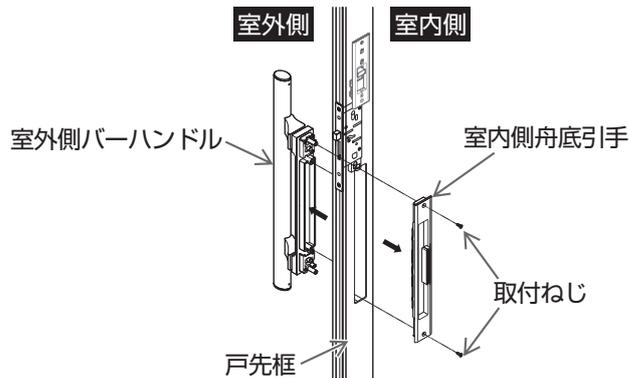


室内側よりプラスドライバーで室内側バーハンドルの取付ねじをはずし、室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。
落下にご注意ください。

※取りはずした室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

室外側バーハンドルタイプ



室内側よりプラスドライバーで室内側舟底引手の取付ねじをはずし、室内側舟底引手および室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。
落下にご注意ください。

※取りはずした室内側舟底引手および室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

※部品の取り付け方は6～11ページをご覧ください。

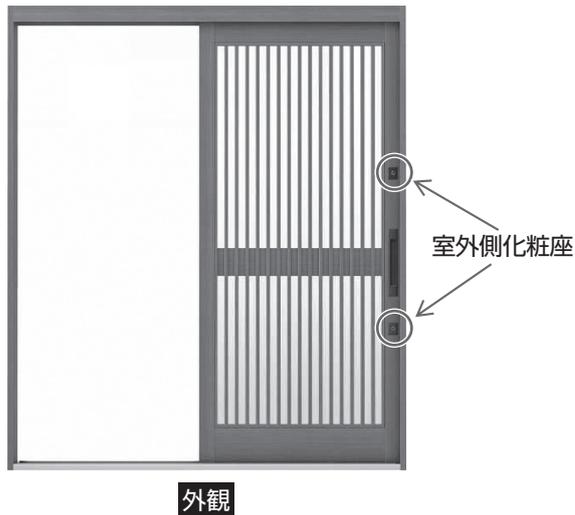
部品の取りはずし方

お願い

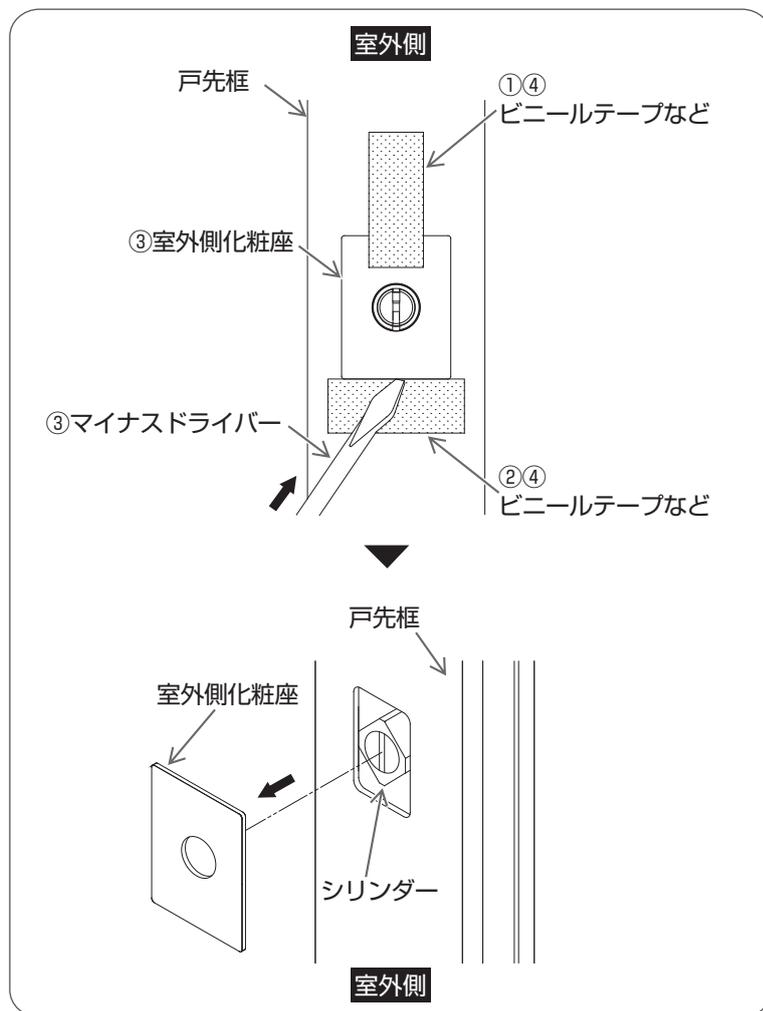
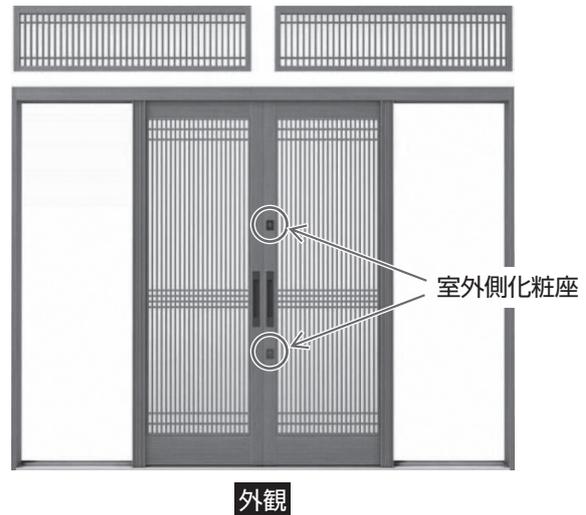
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

2 室外側化粧座の取りはずし(上下共通)

片引込み



両引込み



- ① 室外側化粧座上部を飛散防止用として、ビニールテープなどで仮止めする。
※ 室外側化粧座をはずした際に、勢いよく飛び出し、顔などに当たりケガをするおそれがあります。必ず行ってください。
- ② 室外側化粧座下部の戸先框表面にキズ防止用として、ビニールテープなどを貼る。
- ③ 室外側化粧座の下側からマイナスドライバーを差し込み、室外側化粧座をはずす。
- ④ ビニールテープなどをはがす。

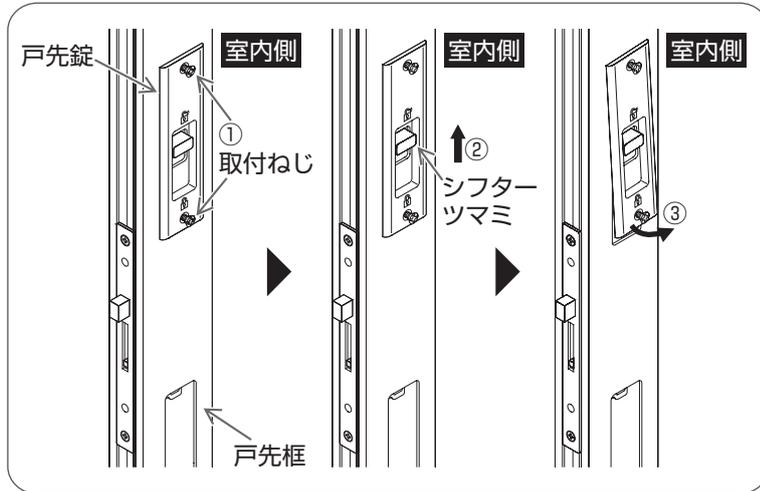
※部品の取り付け方は6～11ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

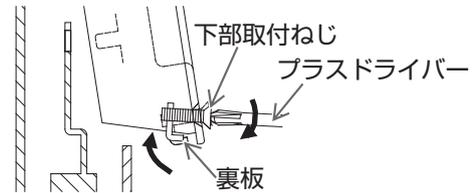
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

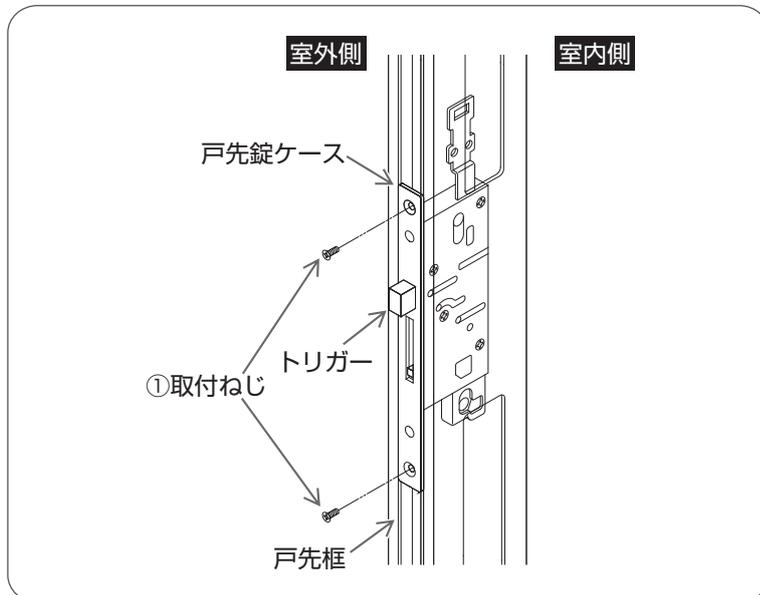
3 戸先錠の取りはずし



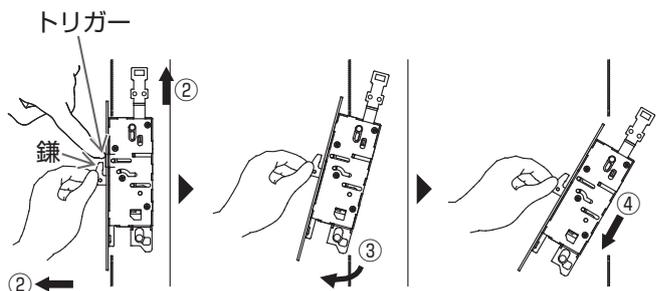
- ①室内側よりプラスドライバーで戸先錠の取付ねじを固くなるまでゆるめる。
※取付ねじはゆるむだけで、はずれません。
- ②戸先錠のシフターツマミを上げて戸先錠を上にはずす。
- ③戸先錠の下部を引き出してはずす。
※引き出す際、プラスドライバーで下部取付ねじを下げると裏板が持ち上がり、はずし易くなります。(下図参照)



4 戸先錠ケースの取りはずし



- ①プラスドライバーで戸先錠ケースの取付ねじをはずす。
- ②戸先錠ケースのトリガーを押して鎌を出し、鎌を指でつまんで戸先錠ケースを戸先框から少し引き出して上にはずす。
- ③鎌を指でつまんだまま戸先錠ケースの下部を引き出す。
- ④戸先錠ケースを斜めに下げて戸先錠ケースをはずす。
※②～④は取りはずし方がわかり易いように戸先框内部で説明しています。



※部品の取り付け方は6～11ページをご覧ください。

部品の取り付け方

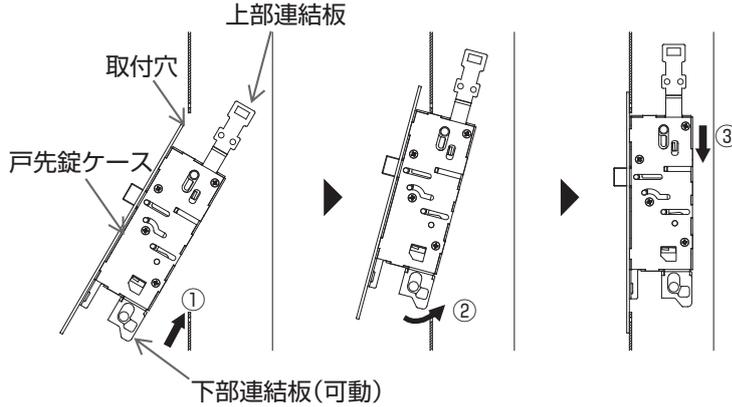
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

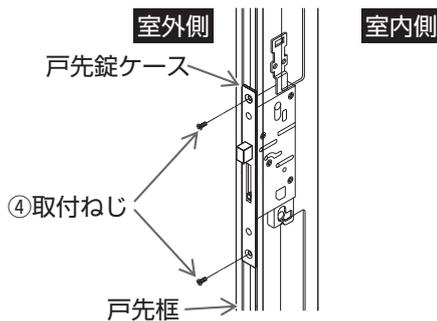
※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 戸先錠ケースの取り付け

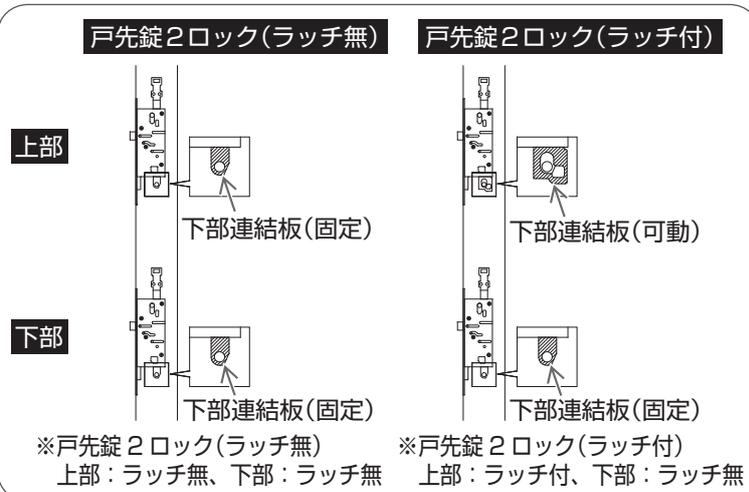
※①～③は取り付け方がわかり易いように戸先枠内部で説明しています。



- ①戸先錠ケースの上部連結板を上にして取付穴に差し込む。
- ②戸先錠ケースの下部を取付穴に押し込む。
- ③戸先錠ケースを下にスライドする。
- ④プラスドライバーで戸先錠ケースの取付ねじをしめる。



■戸先錠2ロックの戸先錠ケースの取り付け



※ラッチ付の場合、上部と下部で取り付ける戸先錠ケースの種類が異なります。
左図を参照して取り付けてください。
また、上部の戸先錠は脱着シフトーツマミ付になります。

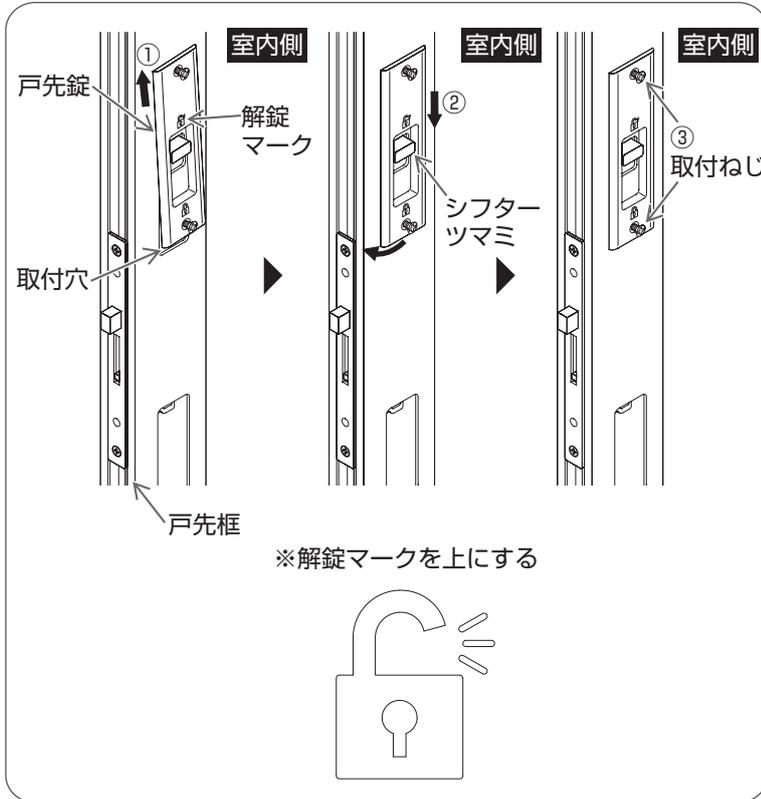
※部品の取りはずし方は2～5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

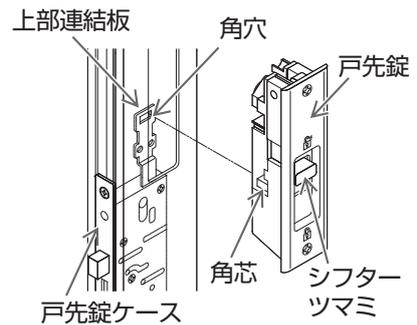
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

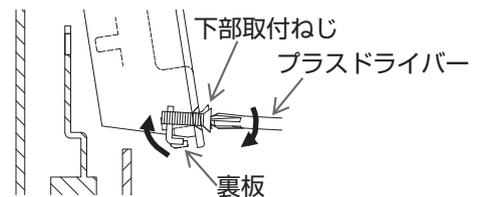
2 戸先錠の取り付け



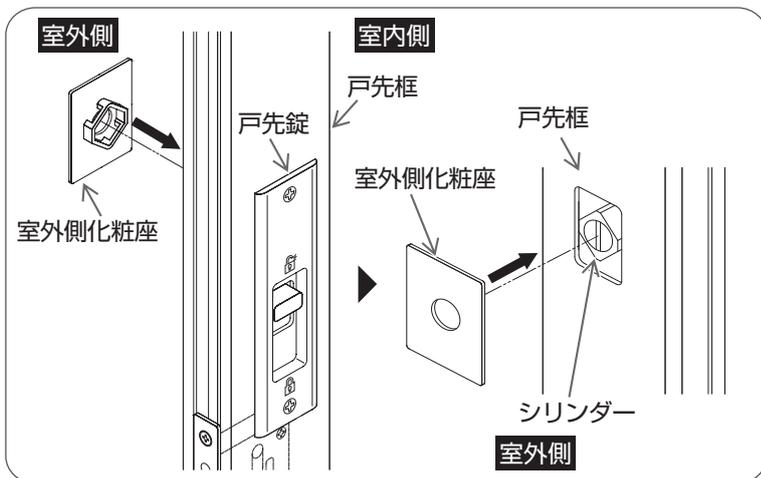
- ①室内側より戸先錠の「解錠マーク」を上にして取付穴に差し込む。
※差し込む際、必ず戸先錠の角芯を戸先錠ケースの上部連結板の角穴に差し込んでください。(下図参照)



- ②戸先錠のシフターツマミを上げながら戸先錠の下部を押し込んで戸先錠を下にスライドする。
※押し込む際、プラスドライバーで下部取付ねじを下げると裏板が持ち上がり、押し込み易くなります。(下図参照)
- ③プラスドライバーで戸先錠の取付ねじをしめる。



3 室外側化粧座の取り付け(上下共通)



- ①下部室外側化粧座に貼ってあるシール(下図)をはがす。

〈召合せ錠用〉

工事中使用禁止
工事終了後
お剥がしください

※戸先錠2ロックの場合
〈下部戸先錠用〉

- ②室外側より室外側化粧座を戸先錠のシリンダーに差し込む。
※室外側化粧座には上下はありません。

※部品の取りはずし方は2～5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

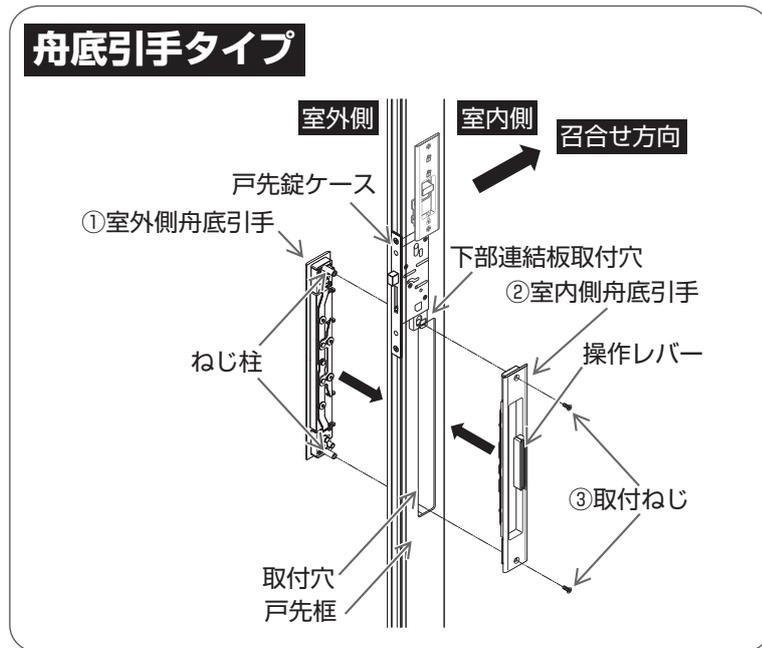
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

4 戸先側操作部の取り付け

※室内外側バーハンドルタイプの取り付け方は9ページ、室外側バーハンドルタイプの取り付け方は10・11ページを参照してください。

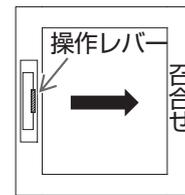
舟底引手タイプ



※舟底引手(ラッチ付)を取り付ける時の注意事項

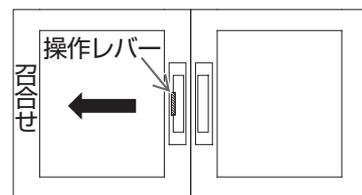
- ・操作レバーを押さずに取り付けてください。押した状態で取り付けると戸先錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・取り付け時に操作レバーを召合せに向けて取り付けてください。(下図参照) 逆方向に取り付けると操作レバーが作動しません。

片引込み



室内側

両引込み



室内側

- ①室外側より室外側舟底引手の操作レバーを召合せに向け、室外側舟底引手のねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて室外側舟底引手を取付穴に差し込む。
- ②室内側より室内側舟底引手の操作レバーを召合せに向け、室内側舟底引手を室外側舟底引手のねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

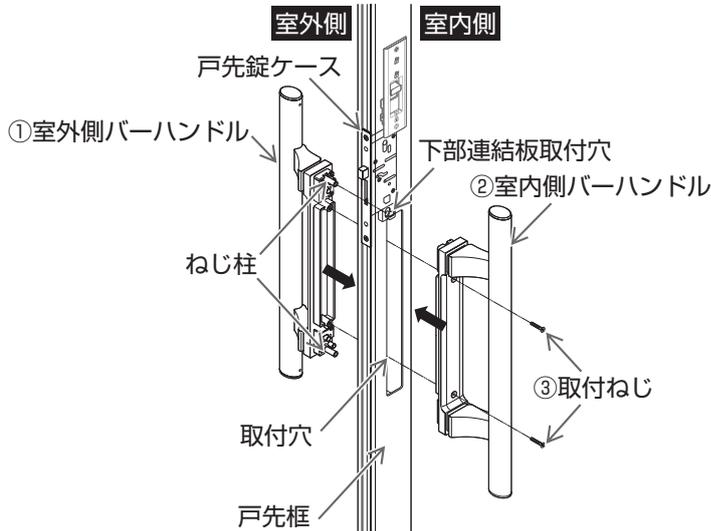
※部品の取りはずし方は2～5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

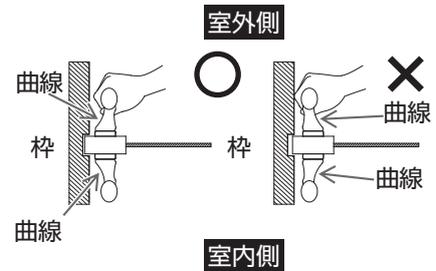
室内外側バーハンドルタイプ



※片引込みの場合、室内外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

- ・ラッチ付の室内外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると戸先錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・室内外側バーハンドルの曲線部を枠側に向けて取り付けてください。(下図左参照)
逆方向に取り付けると引戸開閉時に手をはさむおそれがあります。

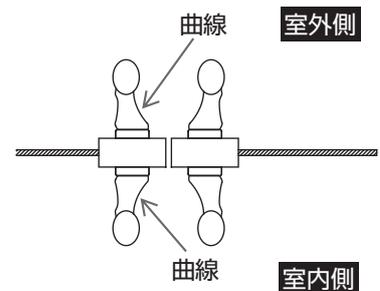
片引込み



※両引込みの場合、室内外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

- ・ラッチ付の室内外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると突合せ錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・室内外側バーハンドルの曲線部を中央部に向けて取り付けてください。(下図参照)

両引込み



- ① 室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて、室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
- ② 室内側より室内側バーハンドルを室外側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

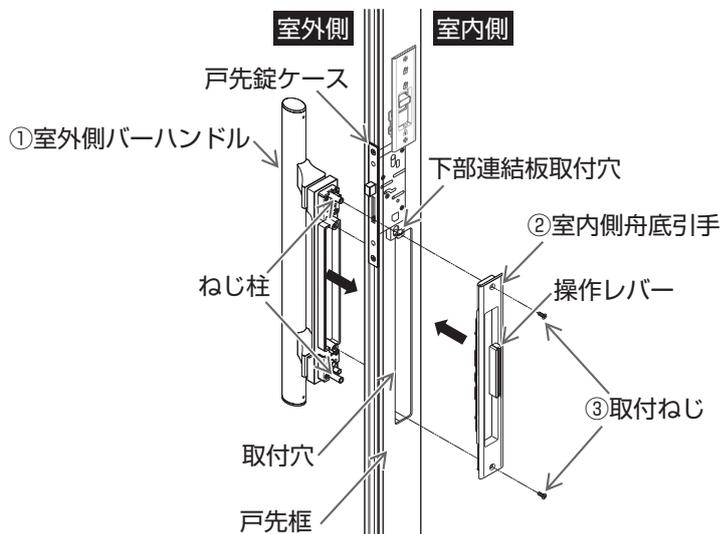
※部品の取りはずし方は2～5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

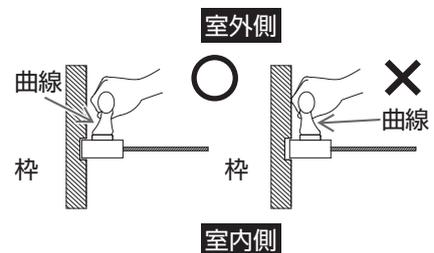
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

室外側バーハンドルタイプ



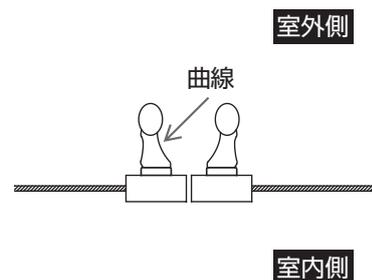
※片引込みの場合、室外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

- ・ラッチ付の室外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると戸先錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・室外側バーハンドルの曲線部を枠側に向けて取り付けてください。(下図左参照)
逆方向に取り付けると引戸開閉時に手をはさむおそれがあります。



※両引込みの場合、室外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

- ・ラッチ付の室外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると突合せ錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・室外側バーハンドルの曲線部を中央部に向けて取り付けてください。(下図参照)



※室内側舟底引手の取り付け時の注意
や取り付け方は11ページを参照してください。

※部品の取りはずし方は2～5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

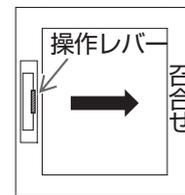
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

※室内側舟底引手(ラッチ付)を取り付ける時の注意事項

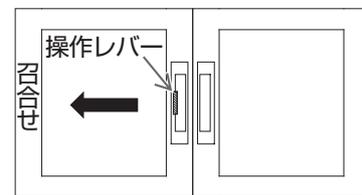
- ・操作レバーを押さずに取り付けてください。押した状態で取り付けると戸先錠または突合せ錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・取り付け時に操作レバーを召合せに向けて取り付けてください。(下図参照)

片引込み



室内側

両引込み



室内側

- ① 室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて、室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
- ② 室内側より室内側舟底引手の操作レバーを召合せ方向に向け、室内側舟底引手を室外側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

部品の交換後のチェック



室外側化粧座

室内側舟底引手

室内側バーハンドル

- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 引手またはハンドルを動かして引戸を開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ シフターツマミを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は2～5ページをご覧ください。